

HEART to HEART



令和8年3月19日(木)発行

6年生、ご卒業おめでとうございます。1～5年生はまもなく学年が終わりますね。進級や進学に向けて、それぞれの目標をもって準備を進めてほしいと思います。

今回は、1月と2月に行われた授業で、ことばやコミュニケーションについて学ぶ児童の姿を紹介します。

アナウンサーから学ぼう (3, 4, 5, 6年会話科「ことばの時間」)

2月10日(火)に、アナウンサーの須賀由美子先生に、会話科「ことばの時間」の授業を行っていただきました。3時間目に3, 4年生, 4時間目に5, 6年生が、話し方の工夫について教えていただきました。



3, 4年生では、対話の仕方や相手に伝わる発声の仕方について体験的に学びました。言葉のキャッチボールでは、イメージしたボールを言葉とともに投げて、相手がキャッチしてくれることで、やりとりの楽しさを味わっていました。腹式呼吸を意識した発声の仕方では、お腹が動いているかを確認しながら発声の練習を行いました。また、朗読の仕方においても、何をイメージして読むかによって、印象が変わることについても学びました。

5, 6年生では、代表

児童が朝の放送を行いました。放送で話すときには、聞く人を意識して話すことの大切さについて学びました。顔が見えない分、声だけで伝えることの難しさを知り、自分が伝えたいことをどう表現するかで、聞き手に届くイメージが異なることが分かりました。また、朝の挨拶には「ソ」の音程が心地よいこと、低めの音で話すことで信頼度を上げる効果があることなどについても学びました。



5年生きよきたふれあい学習

5年生は、きよきたふれあい学習で「伝え合う楽しさ」(ことばの時間)を行いました。

1月27日(火)にゲストとして保護者と職員室の先生や宇都宮大学の先生方をお招きしました。まずは、自己紹介をかねて、「アクト(演技)ゲーム」を行いました。共通の台詞に対し、別のシチュエーションを演じ、他の人はそれぞれ何のシチュエーションを演じているかを当てます。相手にわかってもらうような、表現力が必要になります。声色を変えたり、表情を工夫したりして、自分のお題を懸命に演じていました。次にサイコロの出た目の話題について話しをする「サイコロトーク」を行いました。話す・聞くポイントとして「話す人は理由も付け加えて話すこと」「聞く人は、自分の考えと比べながら人の話を最後まで聞くこと」を意識してサイコロトークを楽しみました。「もしも魔法がひとつだけ使えたら、何をする?」のような、創造力を膨らませるテーマなど普段会話しない話題についてグループで話しました。授業後には、「友達の意外な一面を知れた。」や「〇〇について話した」、「またやりたい。」などの生き生きとした感想を伝えに来る児童が多かったです。



今回の学習で学んだことを普段の生活や授業の中でも活用してもらえよう指導していきたいです。